

### —概要—

当感染症センターは泉佐野市立感染症センターとして、輸入感染症の国内侵入を阻止するため1994年に関西国際空港対岸のりんくうタウンに建設された。りんくう総合医療センターとして総合的に運用されていたが、1999年4月施行の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」施行以来、市立泉佐野病院の管轄下に移行した。

2003年鳥からヒトへ感染が認められたH5N1亜型ウイルスによる高病原性鳥インフルエンザが、パンデミックインフルエンザ(新型インフルエンザ)に変異することを危惧し、体制の強化を図っていたところ、2009年4月、豚由来による新型インフルエンザ(H1N1)が発生した。感染拡大防止のため当センターが中心となり、国内・地域への大きな役割を担った。新型インフルエンザ(H1N1)は世界中でパンデミックをひき起こしたが、病原性が高くはないことが判明した。

2010年4月1日「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第44条の2第3項の規定に基づき、通常の季節性インフルエンザ対策に移行し、その名称については、「インフルエンザ(H1N1エイチイチエヌイチ)2009ニセンキュウ」となった。

しかし、高病原性鳥インフルエンザのヒトへの感染は依然報告されており、1・2類感染症や未知感染症の発生、侵入にも備え、受け入れ態勢の強化を引き続き行う必要がある。

その他、全国3か所、西日本唯一の特定感染症指定医療機関としての役割を果たすべく、見学者の受け入れや、関西空港検疫所等関連機関との会議や訓練等も実施している。

本年度は特に西アフリカでのエボラ出血熱のアウトブレイクを受けて、日本への上陸に備えての対応に終始した一年であった。

特に11月7日には我が国3例目(東京での2例目と同日)となるエボラ出血熱疑似症患者(ギニア国籍の20代女性)を関西空港検疫所から感染症センター高度安全病床に受け入れた。国立感染症研究所に血液検体を搬送し、エボラ出血熱は否定された。当院にて熱帯熱マラリアであると最終診断し、加療を行い経過良好にて11月9日夜に退院となった。

### —実績—

#### 1. 感染症センター見学者

1) 日時：2014年11月25日 火曜日  
9時30分～16時00分

所属：奈良県立医科大学公衆衛生学実習

人数：10名

内容：講義、センター内見学、防護服着脱

2) 日時：2015年1月6日 火曜日  
14時～17時

所属：近畿厚生局

人数：10名

内容：センター内見学

大阪府、関空検疫所、その他 media などからの取材多数

#### 2. 感染症センター 会議及び合同訓練

1) 2014年6月24日 大阪港・阪南港健康危機管理連絡会議  
場所：大阪検疫所 大阪港湾合同庁舎内階会議室

(1) 最近の感染症に関するトピックス

2) 2014年6月27日 関西空港健康危機管理連絡会議  
場所：関西空港検疫所 CIQ合同庁舎4階 会議室

(1) 平成25年度検疫措置訓練実施報告について

(2) 中東呼吸器症候群(MERS)について

(3) その他

3) 2014年11月17日 大阪府エボラ搬送訓練

大阪府内各保健所、第一種感染症指定医療機関等から見学多数

4) 2014年11月17日 エボラ出血熱に関する説明会  
場所：関西空港検疫所 CIQ合同庁舎4階 会議室

(1) エボラ出血熱とは

(2) エボラ出血熱の検疫対応について

(3) エボラ出血熱の消毒対応について

(4) エボラ出血熱検体搬送時の検体梱包について

(5) エボラ出血熱の患者発生時の対応について

5) 2015年3月2日 関西空港検疫所新型インフルエンザ搬送訓練

#### 3. 感染症センター講演会

1) 2014年度第1回感染症センター運営委員会研修会  
エボラ出血熱

～最新の情勢と疑い事例を踏まえた当院の対応について～  
倭正也 2014.10.7

大阪府内各保健所、関西空港検疫所等から参加多数

2) 2014年度第2回院内感染対策研修会、感染症センター運営委員会研修会  
エボラウイルス病

～特定感染症指定医療機関としての当院の対応について～  
2次感染予防(個人防護具着脱訓練)を中心に

倭正也 2014.10.28 and 10.30

大阪府内各保健所、関西空港検疫所等から参加多数

#### 4. 各種研修会

1)2014年度厚生労働科学研究費補助金新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「一類感染症の患者発生時に備えた治療・診断・感染管理等に関する研究」班 研究代表者 加藤康幸 第一種感染症指定医療機関対象：一類感染症ワークショップ

- ・2014年11月12日成田赤十字病院にて実施分に当院から倭正也センター長、大野博美看護師、山内真澄看護師がファシリテーターとして参加した。
- ・2014年12月22日に大阪市立大学/大阪市立総合医療センター実施分に倭正也センター長が参加した。
- ・2015年2月18日の徳島大学病院実施分に大野博美看護師がファシリテーターとして参加した。
- ・2015年2月25日の熊本市市民病院実施分に大野博美看護師がファシリテーターとして参加した。

2)第一種感染症指定医療機関 医療従事者等対象：エボラ出血熱の流行から学ぶ感染症対策研修会には2回目の11月25日には上嶋孝江看護師が参加した。

3)エボラ出血熱対策派遣前専門家研修には1回目に倭正也センター長が参加した。

4)一類感染症とバイオセーフティ研修会 ～エボラ出血熱の流行に学ぶ～ 2015年2月14日・15日には原克則検査科長代理が発表参加した。

5)米国エボラ出血熱対応 調査・研修 2015年2月22日～3月1日には山内真澄看護師が参加した。

6)2014年度厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「自然災害時を含めた感染症サーベイランスの強化・向上に関する研究」研究代表者 松井珠乃 大阪PPE疫学調査研修会 近畿厚生局において2014年12月5日に山内真澄看護師、倭センター長がファシリテーターとして参加した。

7)エボラ出血熱対応自治体向け資料集 エボラ出血熱に関する自治体職員からの質問とそれに対する研究班からの回答集に山内真澄看護師が作成に協力した。

8)2015年3月23日 2014年度厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「一類感染症の患者発生時に備えた治療・診断・感染管理等に関する研究」班会議(東京)に倭正也センター長がオブザーバーとして参加した。

9)2015年3月23日 エボラウイルス病(エボラ出血熱)看護師米国調査・研修報告会(東京)に山内真澄看護師、倭正也センター長が参加した。

#### 5. 厚生労働省会議

1)2014年10月24日

第一回「一類感染症の治療に関する専門家会議」に倭正也センター長が委員として参加した。エボラ出血熱に対しての未承認薬アビガンの使用について検討した。

2)2015年2月24日

第二回「一類感染症の治療に関する専門家会議」に倭正也センター長が委員として参加した。エボラ出血熱の治療に対しての指針について検討した。

#### 6. エボラ出血熱関連の講演

1)TAKEDA SCIENTIFIC SEMINAR

エボラ出血熱の最近の話題

～初期対応で患者さんを見逃さない為に～  
倭正也 2015.1.29

2)大阪市中央区南医師会医事懇話会例会  
エボラ出血熱の現状とわが国における対策  
倭正也 2015.2.4

3)第4回大臨技北地区オープンセミナー  
エボラ出血熱最新情報と医療機関での対応のポイント  
倭正也 2015.2.7

4)第21回近畿熱帯医学研究会  
我が国のエボラ出血熱輸入に対する対策と問題点  
倭正也 2015.3.14

5)大阪府エボラ米国研修報告会

「米国エボラ研修およびバイオセーフティ研修会の学びを今後の感染症にどう生かすか」 2015.3.30

・エボラ出血熱について～2014年に当院で経験したこと  
倭正也

・ICNとして  
山内真澄